

2024年度開始プログラム Aプログラム（標準型総合研修コース）【募集数21名】

1年目：滋賀医科大学医学部附属病院

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
オリエンテーション	内科①	内科②		内科③		内科④		内科⑤		内科⑥		内科⑦		総合診療																																					
	3週	3週		3週		3週		3週		3週		3週		3週																																					
	内科①			内科②			内科③			内科④			総合診療		外科				救急				救急or麻酔科				小児科				産婦人科				精神科																
	6週			6週			6週			3週			3週		4週				4週				4週				4週				4週																				

2年目：滋賀医科大学医学部附属病院及び協力型病院・協力施設

自由選択科 32週 （最大4ヵ月間、協力型病院にて研修可能）	救急 4週	地域研修 4週	外科 （選択） 4週	東近江or JCHOor 公立甲賀 4週
--	----------	------------	------------------	-------------------------------

【Aプログラムのポイント】

- ①1年目の内科は、内科7診療科と総合診療部全てを各3週ローテートするコースと、内科4診療科と総合診療部を6週ずつローテートする2種類のコースから選択していただけます。（週数は実際に研修を実施する週数を記載。）
- ②外科は、1年目に消化器・乳腺一般外科あるいは心臓血管・呼吸器外科のいずれかをセンターで割り振り、2年目は、1年目にローテートしていない消化器・乳腺一般外科あるいは心臓血管・呼吸器外科をローテートします。
*希望により脳神経外科、整形外科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科に振り替えることも可能です。
- ③1年目の救急8週のうち希望により4週を麻酔科に振り替え可能です。
- ④一般外来研修4週については、総合診療部、地域医療研修、総合内科・外科研修（東近江総合医療センター、JCHO滋賀病院、公立甲賀病院の中から自由選択）にて実施します。

Bプログラム（周産母子研修コース）【募集数4名】

1年目：滋賀医科大学医学部附属病院

オリエンテーション	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
	内科① 3週			内科② 3週			内科③ 3週			内科④ 3週			内科⑤ 3週			内科⑥ 3週			内科⑦ 6週						救急 4週	麻酔 4週	小児（8週）+産婦（4週） or 小児（4週）+産婦（8週）						外科 4週																			
	内科① 6週						内科② 6週						内科③ 6週						内科④ 6週																																	

2年目：滋賀医科大学医学部附属病院及び協力型病院・協力施設

自由選択科 36週 (最大4ヵ月間、協力型病院にて研修可能)																												救急 4週	地域研修 4週	精神 4週
--------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------	------------	----------

【Bプログラムのポイント】

- ①産婦人科・小児科合計12週必修とするプログラムです。（どちらを8週にするかは選択できます）
- ②1年目の内科は、内科7診療科と総合診療部全てを各3週ローテーションするコースと、内科4診療科と総合診療部を6週ずつローテーションする2種類のコースから選択していただきます。（週数は実際に研修を実施する週数を記載。）

◎A・Bプログラムにおいては、2年目で最大4ヵ月複数病院を選択可能

【協力型病院】

長浜赤十字病院、市立長浜病院、彦根市立病院、東近江総合医療センター、湖東記念病院、日野記念病院、近江八幡市立総合医療センター、市立野洲病院、公立甲賀病院、滋賀県立総合病院、済生会滋賀県病院、淡海医療センター、JCHO滋賀病院、市立大津市民病院、高島市民病院、医仁会武田総合病院、宇治徳洲会病院、京都岡本記念病院、京都桂病院、伊賀市立上野総合市民病院、鹿児島市立病院（NICU）等

Cプログラム（1年目協力型病院研修コース）【募集数15名】

1年目：協力型病院

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
1年目：協力型病院																																																			

2年目：滋賀医科大学医学部附属病院及び協力施設

オリエンテーション	自由選択科 39週 (1年目で不足している必修科や一般外来研修を補います。)																												救急 4週	地域研修 4週

【Cプログラムのポイント】

- ①1年目に下記の協力型病院で1年間研修を行います。（週数は実際に研修を実施する週数を記載。）
- ②病院により必修科目が異なる場合もあります。

◎Cプログラム1年目研修先協力型病院一覧

【滋賀県】

長浜赤十字病院、市立長浜病院、彦根市立病院、東近江総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、公立甲賀病院、滋賀県立総合病院、淡海医療センター、JCHO滋賀病院、市立大津市民病院

【京都府】

京都医療センター、宇治徳洲会病院、京都岡本記念病院、医仁会武田総合病院、京都桂病院



滋賀医科大学 Aプログラム (標準型総合研修コース)

プログラム責任者：川崎 拓

循環器内科・呼吸器内科

高齢化社会においてはACSなどステント留置、ウロキナーゼなどによる血栓融解、不整脈治療など必須領域です。時には夜間緊急呼び出しもあるかもしれません。呼吸器は非小細胞肺癌に代表される肺癌など、2011年のがん統計では男性では死因の第1位、女性でも大腸がんに次いで第2位になっています。たとえ、将来、総合医を目指すとしても肺癌の入院患者さんを経験することは今後の医療の上でも大切です。

消化器内科・血液内科

消化器病は日本では1つのスタンダード分野です。日本のがん統計では消化器関連が全体的には多く、男性ではがん死因統計の2位以下が胃がんに続いて、大腸、肝臓、膵臓となっています。女性では1位が大腸がんで3位が胃がん、4位が膵がん、5位が乳がんとなっています。高齢化も相まって胃食道逆流症GERDなども増加しています。血液内科では多発性骨髄腫MM、県内の数少ない同種骨髄移植認定施設であり、白血病も多数治療しています。

糖尿病内分泌・腎臓内科

日本の高齢化社会の疾患の代表的なものです。2型糖尿病は遺伝的要素と高カロリー、高脂肪食、運動不足などにより引き起こされるインスリン抵抗性が問題です。腎臓内科は糖尿病性腎症などCKDが中心で、高血圧や緊急血液透析にも対応しています。

脳神経内科

脳神経内科では詳細な問診と神経学的診察から最終診断に至る独自の診断手法を用います。アルツハイマーなど痴呆症、脳梗塞への血栓溶解療法(t-PA)などにも対応しています。

Aプログラムの特色：大学病院を中心に研修する基本的なコースです。

2年目で希望する協力型病院で最大4カ月間研修可能です。

消化器外科・乳腺・小児・一般外科

上部と下部にわかれます。各種消化器がんに対して積極的に外科対応し、がん化学療法を含めて治療しています。

心臓血管外科・呼吸器外科

心臓血管外科は救急搬入される患者さんが多い部署です。生体弁、金属弁による弁置換やCABGなどが活発に行われています。突然に発症する激しい胸痛、腹痛や背部痛を示す大動脈解離の緊急手術など素晴らしい成績です。肺癌などを含めた幅広い呼吸器系、縦隔病変などに対応しています。

救急・ICU

国立大学附属病院としては救急搬入は多く、救命救急の積極的治療が行われています。勤務体制は12時間シフト制で、2年間の研修期間中に12週間の研修をします。

地域医療研修

地域診療所、医療施設など31施設から選択してローテートします。



東近江総合医療センター・

JCHO滋賀病院・公立甲賀病院

希望するいずれかの施設を選択して、一次・二次の救急、及び幅広い疾患への対応を研修します。

4名

滋賀医科大学Bプログラム（周産母子研修コース）

プログラム責任者：山原 真子

Bプログラムの特色：滋賀県は全国の中でも出生率が高い地域の1つです。
産科・小児科を合計12週間必修とするプログラムです。

研修医が全人的医療を行い、多くの症例を診察し、治療する過程で指導医の適切な助言のもとに安全で良質な臨床研修を行うことができるようにする2年間の臨床研修を基礎にして、研修医が産科あるいは小児科の疾患に適切に対応できる知識・技能を修得し、患者さんに信頼される医師として高い人間力を身につけ、医療人としての医療倫理が定着することを目標とします。

15名

滋賀医科大学Cプログラム(1年目協力型病院研修コース)

プログラム責任者：小牧 史明

Cプログラムの特色：1年目を希望する滋賀・京都地区の協力型病院で研修します。

市立大津市民病院

JCHO滋賀病院

淡海医療センター

滋賀県立総合病院

公立甲賀病院

近江八幡市立総合医療センター

東近江総合医療センター

彦根市立病院

市立長浜病院

長浜赤十字病院

医仁会 武田総合病院

宇治徳洲会病院

京都医療センター

京都岡本記念病院

京都桂病院

各病院あたりの募集数1～2名

同一病院の希望者が受入可能人数を超える場合には採用試験の成績順に決定しますのでご了承ください。

但し、各病院の受入人数は変更の可能性があり、各病院の採用状況により研修受入不可の場合もあります。

1名

滋賀医科大学基礎研究医プログラム

プログラム責任者：向所 賢一

基礎研究医プログラムの特色：生命科学講座（生物学）、生化学・分子生物学講座（分子病態生化学）、生化学・分子生物学講座（再生・修復医学）、病理学講座（人体病理学）、病理学講座（疾患制御病態学）、社会医学講座（法医学）の6講座を用意しており、研修中ないし研修後に大学院に進むことができます。

1名

滋賀医科大学地域医療重点プログラム

プログラム責任者：小牧 史明

地域医療重点プログラムの特色：研修医2年目時に、医師少数スポット地域（浅井東診療所またはにしあざい診療所）にて、研修を行います。